

総務委員  
鈴木 だいち  
☎070-2166-6260

環境建設委員長  
ほそや 正  
☎345-0818

厚生委員  
三輪 博美  
☎070-2806-7832

みんなで力を合わせ  
憲法9条を守りましよう



2023年10月5日、市長に要望書を渡す党市議団

## 小平市も学校給食無償化を!! 市民の声で全都に広がる

### 無償化の動き

コロナ禍と物価高騰、長引く不況の中で高額な教育費の負担が、多くの保護者を経済的に苦しめ安心して子育てできない状況が続いています。

日本共産党小平市議団は、6月定例会に続き9月定例会でも学校給食無償化について、一般質問で取り上げました。

義務教育にはいわゆる「隠れ教育費」として、副教材や制服代、修学旅行や部活動にかかる費用など、実際には多

額の保護者負担が生じており、その中でも年額5〜6万円の学校給食費が一番重い負担となっています。

そうした中、学校給食無償化の動きは東京都の23区では渋谷区をのぞく22区に広がり、

### 市長と教育長へ申し入れをしました!

6月の市答弁では「給食費は保護者負担」としていましたが、9月議会では学校給食法第11条第2項について

「自治体の判断で補助を行うことは可能であると捉えている」と答弁しました。

これを受けて党市議団は10月5日に市長と教育長に要望書を提出しました。

申し入れでは、①すべての小中学校で給食費を無償化すること②物価高騰においても給食費の値上げは行わず給食の質を低下させないため必要な財政的な補助を講じることなどを要望しました。

### 市民の声

小学校入学後、給食費を負担することに驚きました。月6,000円の給食費は高いなと感じました。3月まで住んでいた中野区も給食費が無料になりました。中野区の同級生ママたちが羨ましい。安心して子育てできること間違いなしです。ぜひ小平市も給食費を無料に! (小学生の保護者より)



### PFAS水汚染問題

3・6・9月議会連続追及!

## 多摩地域の自治体が次々と独自施策を打ち出す

調布市、武蔵野市、立川市など

「多摩地域の有機フッ素化合物汚染を明らかにする会」が多摩地域に住む27自治体の住民650人を対象に血液検査を実施しました。その結果、小平市民の血液中のPFAS濃度は22・6ナノグラムと5番目に高い値であり、日本より厳しい基準を持つ米国の指標値と比較し半数以上(53・6%)の方が超えていることがわかりました。

### 市民の声を議会へ届ける

市民からは党市議団のもとに「学校や保育園の水道水から高濃度のPFASが検出された場合、市が責任をもって浄水器を設置してほしい」、「野菜のPFASへの影響を調べて公表してほしい」、「希望する市民には血液検査を実施してほしい」など、切実な声が寄せられています。調布市では災害用井戸の水

※注釈

### 「予防原則」とは?

化学物質や遺伝子組換えなどの新技術などに対して、環境に重大かつ不可逆的な影響を及ぼす仮説上の恐れがある場合、科学的に因果関係が十分証明されない状況でも、規制措置を可能にする制度や考え方のこと。



小平市としても徹底した「予防原則」(※注釈)に基づき、市民の不安により、市独自の事態調査を行い、浄水器の設置や血液検査の実施などの対策を講じることを求めました。

策に動き出しました。



## 9月議会

## 市議団の一般質問

小学校は  
5校中学校は  
1校がなくなる!

小学校の統廃合計画

小学校19校→14校に



2040年	八小・鈴木小→八小に統合
2045年	四小・十小→どちらかに統合、 十二小・上宿小→どちらかに統合
2050年	二小・九小・学園東小→2校にする
2062年	六小・十五小→六小に統合



中学校の統廃合計画

8校→7校に



2050年	四中・上水中→どちらかに統合
-------	----------------

小平第十三小学校等複合化の基本計画（骨子案）が9月議会に示されました。小平第十三小学校学区域内にある、小川西町地域センターと小川西町中宿地域センターは機能廃止、跡地は売却も含めて判断するとしています。

公共施設マネジメントによる床面積20%削減方針が実施された場合、小中学校の複合化・統廃合の影響により身近な地域センターや

小平市は人口のピークを2025年（人口推計補足版）としていますが、東京都の報告（令和5年3月）では小平市は2030年にピークを迎え20万6093人になると予測しています。党市議団は、公共施設マ



小平市 2030年まで人口増の見込み

公民館が廃止・縮小されていきます。市民活動の後退や、子どもたちの学校教育

に支障が生じないか、市民のみなさんより懸念の声が寄せられています。



ほそや

正 議員

所属  
環境建設委員会委員  
長、都市基盤整備調  
査特別委員会副委員  
長、幹事長、団長

小平第十三小学校等複合化  
二つの地域センターは  
これからも存続を!

私は介護現場で18年間働いてきました。「特別養護老人ホームに入りたくてもなかなか入ることが出来ず、何年間も待っている」そのような思いをしている方やご家族が沢山います。待機者は年々減ってきていると市は説明していますが、足りない状況が続いているのが現実です。「待機者を減ら

してほしい」と一般質問で取り上げました。地域包括ケア推進計画に特別養護老人ホームの増設、小規模特別養護老人ホームの増設を盛り込むこと、年々段階的に上がっている介護保険料についても、市として東京都や国に介護保険給付の改善や見直しを働きかけるよう要望しました。

引き続き、誰もが安心して住み慣れた地域で暮らせるように取り組んでいきます。



誰もが安心して  
住み慣れた地域で  
暮らせる小平市を!



三輪

博美 議員

所属  
厚生委員会、広聴広報特別委員会、公共施設マネジメント調査特別委員会

岸田政権のもとで、マイナ保険証に別人の情報が紐づけられるなどのトラブルが約8400件以上発生し、全国各地の医療機関で混乱が生じています。

不安になった市民のみなさんからは「マイナンバーカードを返納したいがどうすればいいのか」との相談が党市議団のもとに寄せら

となれば、マイナンバーカードを持たない人は公的保険診療から遠ざけられる結果となりがねず、国民皆保険制度のもとで守られている国民の命と健康が脅かされることから、小平市には国に対して健康保険証廃止・マイナンバーカード一本化の中止を働きかけるよう求めました。



鈴木

だいichi 議員

所属  
総務委員会、議会運営委員会

トラブル続出のマイナ保険証  
紙の健康保険証は  
存続を!